

# 地域交通分野と他分野の 共創・連携について

若菜 千穂

1

特定非営利活動法人 いわて地域づくり支援センター 常務理事

博士（農学） / 東北運輸局アドバイザー / 北陸信越運輸局アドバイザー

wakana\_2005@iwa-c.net

<http://iwa-c.net/>

# 当センターの紹介

## ■ 自己紹介

- 茨城県取手市出身→岩手大学へ
- 札幌で道路系コンサルに就職
- 岩手にJターン

## ■ センターの概要

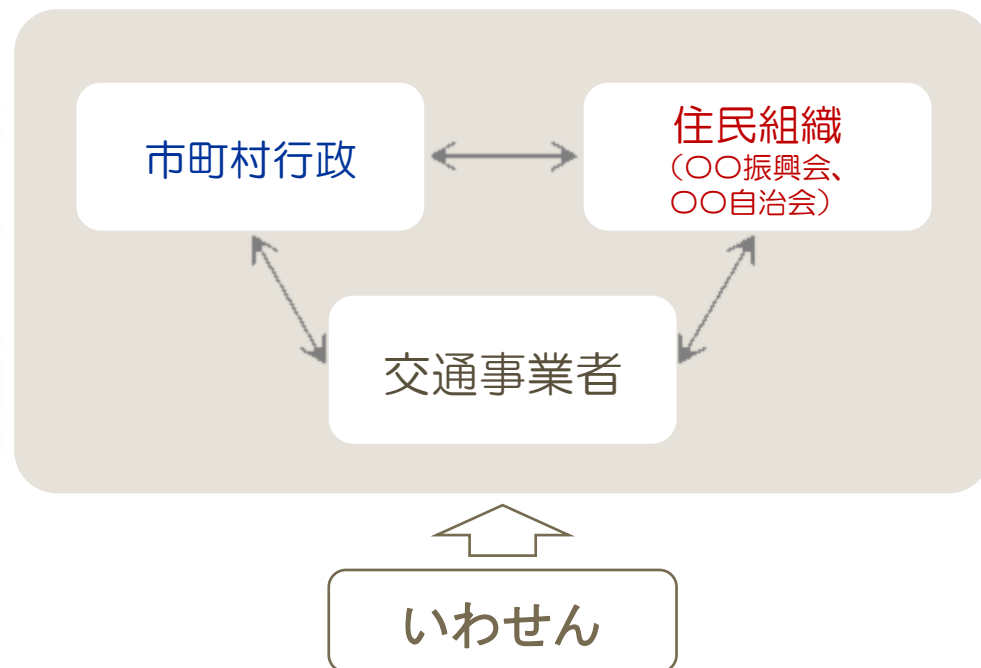
- 岩手大学農学部教授が創設
- 平成17年設立
- 専従職員3名＋広田理事長

## ■ 主な仕事

- 住民主体の地域づくり支援
- 農村交通づくり支援
- 中間支援人材の育成



### ➤ いわせんの立ち位置



### ➤ いわせんの仕事の広がり



# いわせんのお仕事（地域公共交通業務）

主なもの

## 地域交通計画策定

R6 住田町、遠野市  
R5 八幡平市、丸森町  
R3 蔵王町  
R2 加美町  
H27 岩手町  
H26 藤里町  
H25 大槌町、釜石市  
H23 岩泉町、宮古市、  
山田町  
H22 北上市  
H19 田野畑村、西和賀町

## 路線見直し、 デマンド導入等

R6 鶴岡市朝日  
R5 村上市山北地区  
R3 鶴岡市藤島・櫛引  
R1 葛巻町  
H29 花巻市大迫  
H29 雫石町  
H23 宮古市川井  
H22 七戸十和田

## 住民主体交通づくり

R6 白石市白川地区  
R5 白石市小原地区  
R4 奥州市伊手  
H30 奥州市稲瀬  
H28 遠野市小友



## 情報誌・デザイン

（路線図、時刻表、バスデザイン、バス停デザイン等）

# 今日お伝えしたいこと

共創・連携するための  
プロセスデザイン

共創・連携するための  
ポイント／コツ

## 事例 1：新潟県村上市山北地区

バス事業者

市町村行政

NPO法人

病 院

## 事例 2：岩手県奥州市伊手地区

バス事業者

タクシー会社

市町村行政

地域運営組織

商店・食堂

# 基本プロセス

情報収集・  
マップ化



バス乗車



事業者関係者  
聞き取り



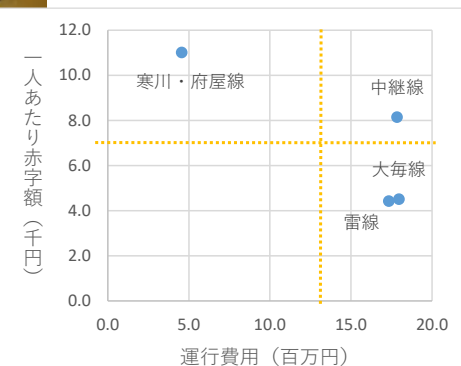
集落・住民  
聞き取り



提案・協議



導入支援



いわて地域づくり支援センター 出張いわせん塾

## 若菜が行く！ 若菜が斬る！

出張  
いわせん塾  
Iwasen Juku

いわて地域づくり支援センターは、平成 17 年から農山村地域に寄り添い、住民主体の地域づくりや移動支援などの地域交通づくりに取り組んできました。これからの時代は、もっと自分たちで考えて行動すべき時代になります。そして、もっと自由に「私たちでもこんなことできないか?」「どんなことができるの?」など、語り合う仲間が増えていく予感がします。何から取り組んだらいいかわからない人も、まずは気軽に相談ください。地域づくりのプロが駆け付けます!

**開催条件** 2人から開催可

**開催費用** 相談に応じます (例えば参加費1人500円等)

**問合せ・申込み** iwacen\_2005@iwa-c.net  
(NPO 法人いわて地域づくり支援センター)



**プログラムイメージ**

### 住民による 住民のための 移動サービスを学ぶ



「一人暮らしが増えて買い物に困っている人がいるみたい」「運転免許をできれば手放したいけれど...」「でも、交通は難しく、自分たちで何ができるのかわからない」...そんな悩みに丁寧に答えられます。交通に関する法律や業界の話から、自分たちで何から始めればよいのかなど、地域の実情に沿って必要な情報や対話の場を作ります。

**ミニ講座** **小班にわかれて意見交換** **質疑応答** など

**プログラムイメージ**

### ズバリ! 1日でできる 交通診断



「地域にバスはあるけど、使われていない」「デマンドタクシーが欲しいけど、この時に合ってる?」などの悩みにズバリお答えします。

**事前準備**

地域の地図、バス時刻表、路線図、現在の悩みなどを事前にお送りください。

**プログラム**

- 1) バス等に体験乗車 (若菜)
- 2) 行政担当、バス・タクシー事業者への聞き取り
- 3) 交通診断結果の共有と改善策について  
適正な交通提案も

講師・コーディネーター  
**若菜 千穂**

NPO 法人いわて地域づくり支援センター常務理事、国土交通省東北運輸局「地域公共交通東北仕事人」、経済産業省地域力創造アドバイザー、岩手県内外の公共交通調査研究から各種プロジェクト実践支援に携わる。



# 事例 1 新潟県村上市山北地区

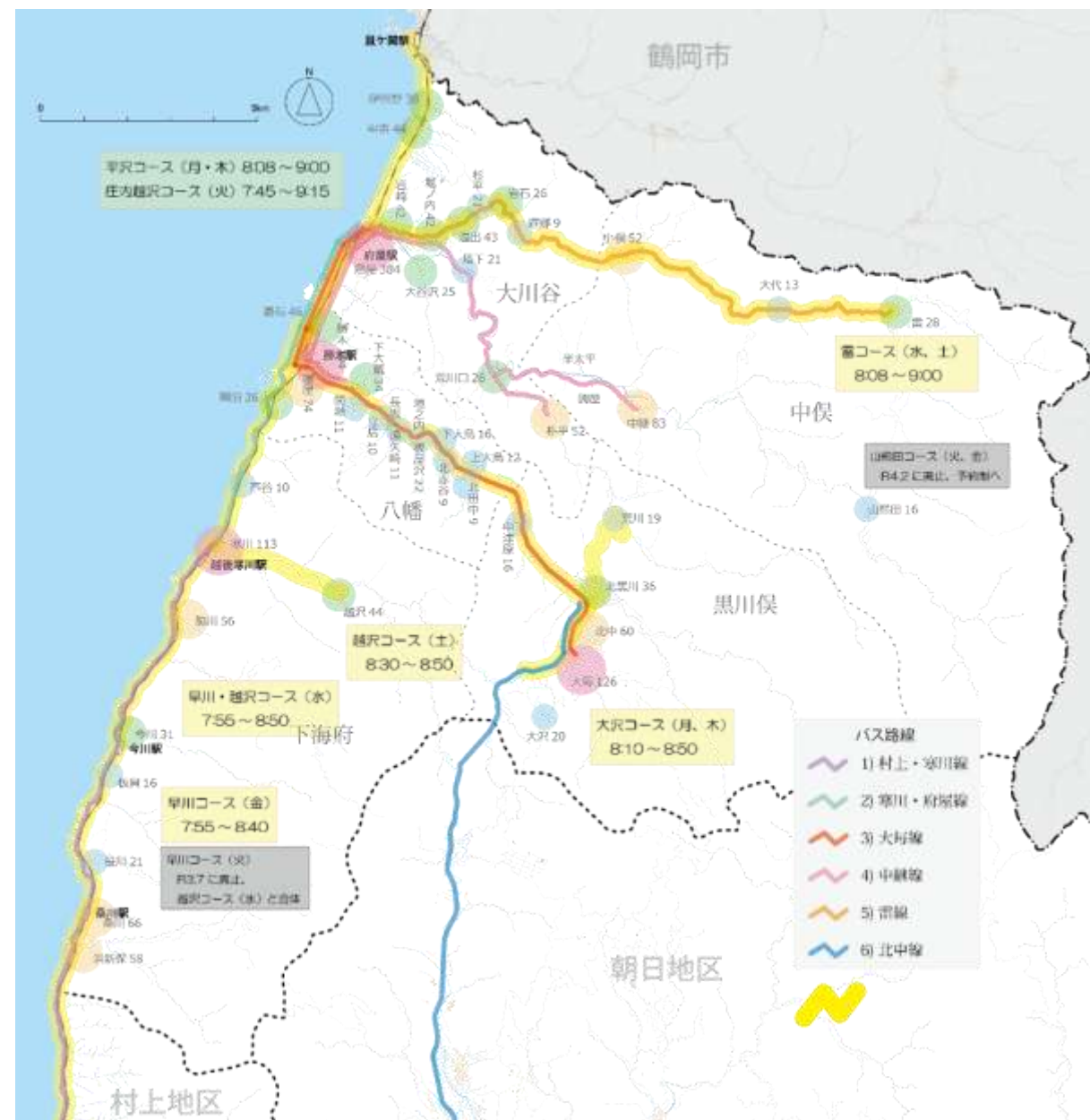
## ■地域の概況

- 人口 5,000人、面積 283.9km<sup>2</sup>
- バス事業者 1社、バス路線 5路線
- 病院送迎バスが区内を網羅

## ■発生した交通問題・課題感

- 令和2年にタクシー事業者が廃業
- 路線バスの運行費も増加傾向
- 病院送迎バスと重複する路線も多い

持続可能な交通ネットワーク  
にしたい



# 見直しの進め方

情報収集・  
マップ化

R3.10～

バス乗車

R4.5.12

事業者関係者  
聞き取り

R4.6.21

集落・住民  
聞き取り

R4.8.24

提案・協議

R4.9.21～

導入支援





# 見直しの進め方

情報収集・  
マップ化

R3.10～

バス乗車

R4.5.12

事業者関係者  
聞き取り

R4.6.21

集落・住民  
聞き取り

R4.8.24

提案・協議

R4.9.21～

導入支援

住民



タクシー会社（村上市街）



バス会社



NPO法人



# 見直しの進め方



## 【検討会】

6月 第1回 立ち上げ  
9月 第2回 調査結果  
11月 第3回 提案  
2月 第4回 提案修正

情報収集・  
マップ化

R3.10～

バス乗車

R4.5.12

事業者関係者  
聞き取り

R4.6.21

集落・住民  
聞き取り

R4.8.24

提案・協議

R4.9.21～

導入支援

R4.12.5～

現状



路線バスと病院バスが  
重複して運行

提案



一体化し、一部路線を  
デマンド運行化

狭隘な道路のため、  
車両が自宅そばまで  
近づけない問題

検討の結果、病院送迎  
は一体化できず、NPO  
法人が空白地有償運送  
を実施することに。

# 新・ネットワーク

## ■ 交通の見直しポイント

- バス路線を2路線廃止、1路線新設
- 地元NPO法人による空白地有償運送を導入
  - 完全マニュアル配車、ダイヤナシ、ドアツードアサービス

## ■ 見直しの効果

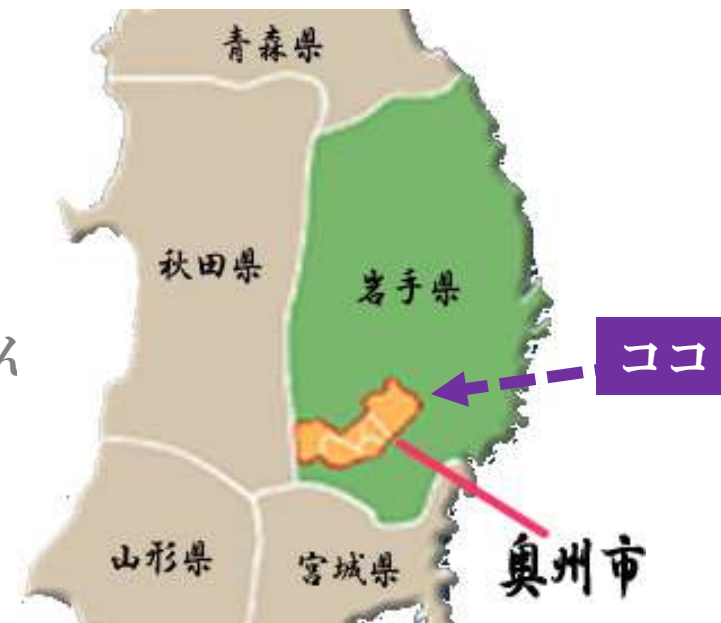
- 利用者増
- オペレーションの修正等



# 事例 2 奥州市伊手地区

## ■ 地区の概要

- 人口1,581人、637世帯、高齢化率51%、9自治会
  - 5,000haの広大な面積の67%が山林、農業が主産業（米、和牛、りん
  - 中学校は昭和53年に閉校
  - 伊手小学校は令和5年3月をもって閉校
- 中山間協定 19協定、多面 2組織



# 伊手地区の公共交通

## ■市営バス

- 1日7便
- 廃止代替バス

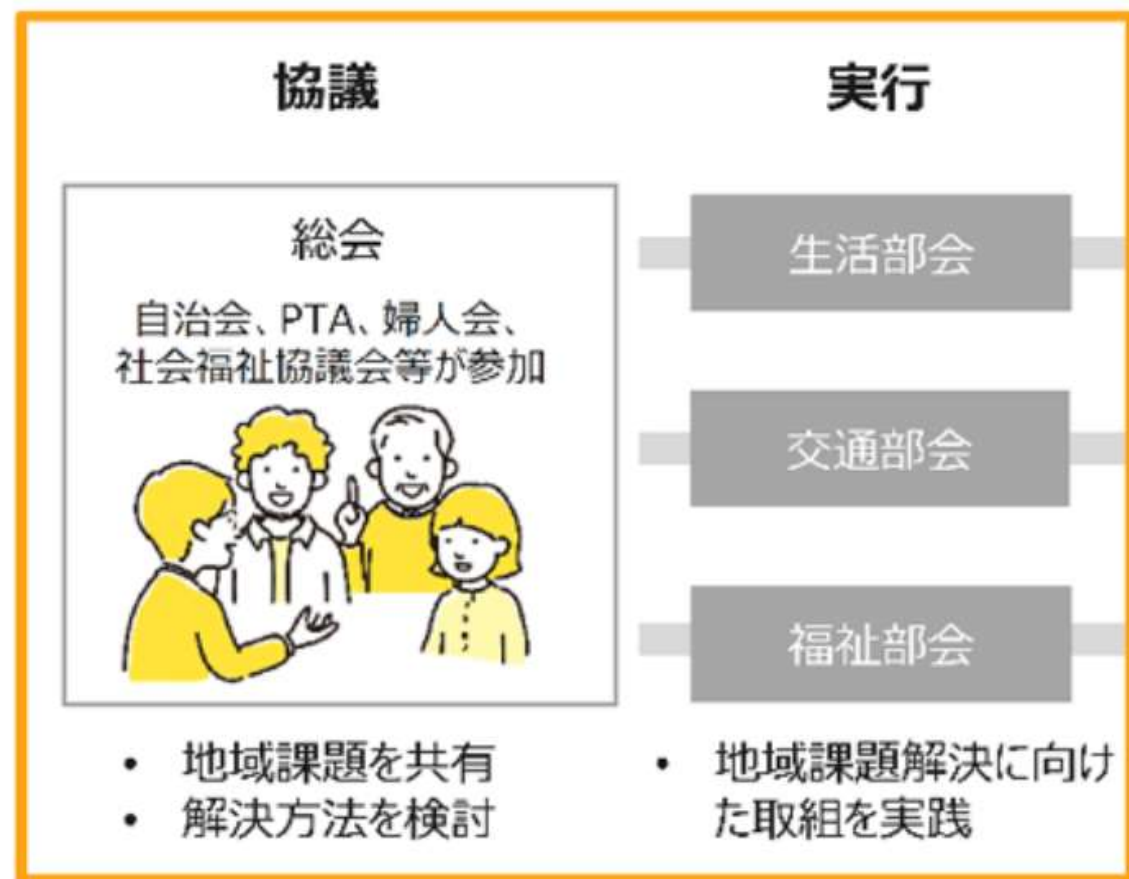
## ■タクシー 1台



# 伊手地区（地域運営組織）

## ■伊手振興会と事務局体制

〇〇地域づくり協議会（＝地域運営組織）



買物支援



外出支援



声かけ・見守り



伊手地区センターの指定管理を受け、振興会の事務局も担いながら、様々な地域活動に取り組む。（専従職員4名）



# 見直しの進め方

情報収集・  
マップ化

R2.10～



集落・住民  
聞き取り

R3.1.26



バス乗車

R3.4.21

事業者関係者  
聞き取り

R3.4～



提案・協議

R3.5.12



導入支援

# 見直しの進め方

情報収集・  
マップ化

R2.10～

集落・住民  
聞き取り

R3.1.26

バス乗車

R3.4.21

事業者関係者  
聞き取り

R3.4～

提案・協議

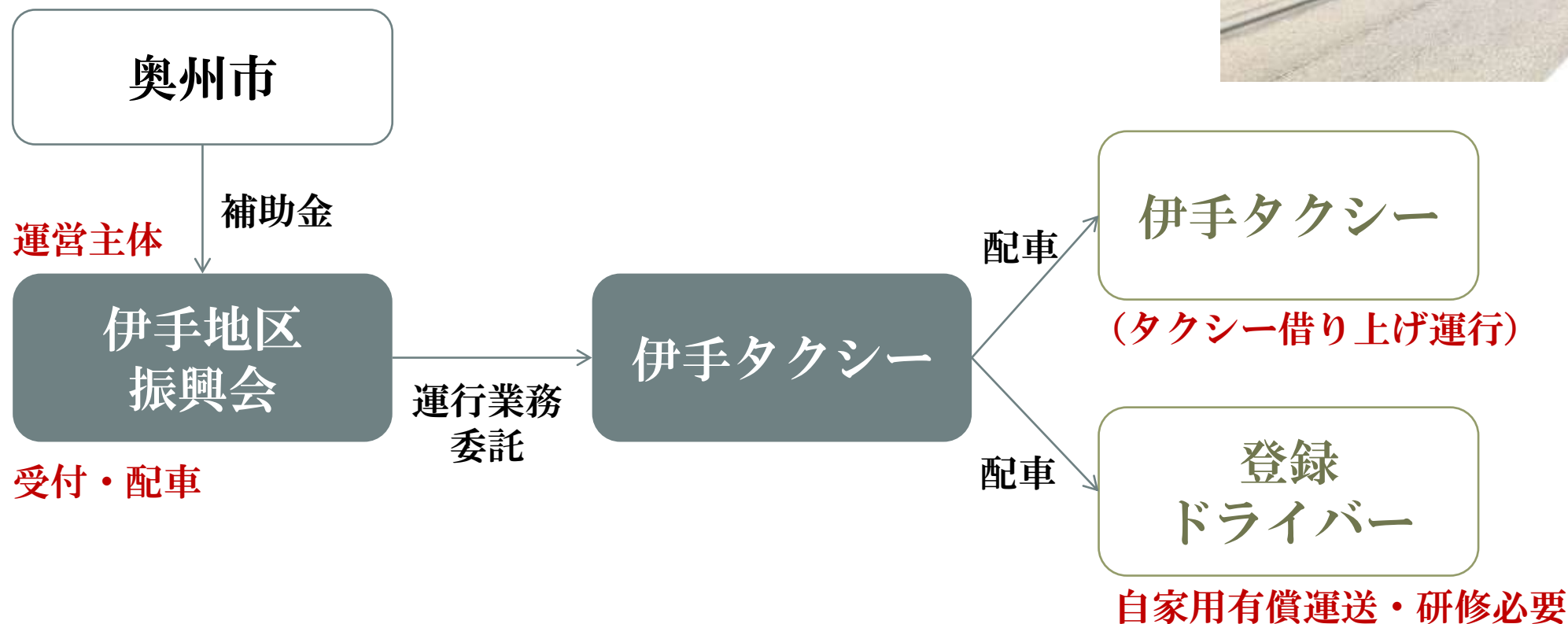
R3.5.12

導入支援



# 運行案検討のポイント

- 市営バスの短縮 → 地域内交通のあり方
- 乗合タクシー or 自家用有償運送
  - 運営主体をどこにするか、タクシー会社との関係をどうするか
  - どこまで地区で行い、どこからタクシーに任せるか



# 伊手地区の生活支援

- 令和4年度～
  - 空白地有償運送スタート
- 農村RMO活用
  - 住民アンケート
  - 買い物ツアーと移動支援の試験運行

伊手地区で住民同士が送迎しあうボランティア送迎  
「いで・ごー」  
令和5年4月1日改訂版！

「いで・ごー」とは？  
「自分たちの移動は自分たちで助け合おう！」と伊手振興会が主体となって運行する、伊手地区住民の移動を助ける交通です。  
前日 15 時までに予約すると、利用者同士で乗りあって、指定乗降場所まで乗ることができます。  
お迎えの時間と目的地までの到着時間や経路は、予約状況で変動します。

利用できる方  
伊手地区にお住まいの方

運行曜日  
月・火・金  
(12/29～1/3、8/13～16、祝日運休)

利用料金  
1乗車 500 円  
(市営バスに乗り継ぐ場合は割引)  
小学生………250 円  
身体障がい者手帳・精神障がい者保険福祉手帳提示者………250 円  
運転経歴証明書提示者………250 円  
同伴者がいる未就学児2人まで………無 料

予約先  
伊手振興会  
前日 15:00 までにご予約ください。  
39-2121  
【平日 9:00～17:00】

出発時刻  
変わりました！

| 行き         | 1 便目   | 2 便目    | 3 便目    |
|------------|--------|---------|---------|
| 自宅近くの指定停留所 | 7:50 頃 | 9:40 頃  | 12:50 頃 |
| 伊手地区センター着  | 8:29 頃 | 10:17 頃 | 13:32 頃 |

| 帰り         | 1 便目    | 2 便目    | 3 便目    |
|------------|---------|---------|---------|
| 伊手地区センター発  | 13:08 頃 | 15:08 頃 | 17:18 頃 |
| 自宅近くの指定停留所 | 13:50 頃 | 15:50 頃 | 18:00 頃 |

伊手の /  
おでかけをお助けする  
2つのサービスおためし運用！  
2025年3月まで試験運行

買物や病院へ、自宅から送迎します  
買物したいけど運転が不安…。通院を人に送迎をお願いするのは気が引ける。など、伊手農村農業活性化協議会がお助けします！  
協議会の私、菅野郁弥が送迎します！

サービス1 お買い物に！  
いで おでかけサロン  
岩谷堂方面のスーパー等をめぐり、買い物のための交通サービスです。  
運行日 水・木曜日の午後  
(決まった時間・路線を走ります)  
行き先 岩谷堂方面の買い物施設  
(藤王堂江刺店、イオンタウン江刺、しまむら江刺店、サンエー)  
利用料金 1回 100 円  
(ガソリン代・保険代として)  
利用方法 前日15時までに要予約  
予約先 伊手地区センター  
0197-39-2121

サービス2 通院に！  
登録制 いで 通院支援  
車がない、送迎をお願いする人がいない人が、通院するための交通サービスです。  
運行日 水・木・金曜日の午前  
(1人につき月1回程度)  
行き先 奥州市内の病院  
利用料金 1回 100 円  
(ガソリン代・保険代として)  
利用方法 2日前までに要予約  
(事前の会員登録が必要です)  
予約先 伊手地区センター  
0197-39-2121

運営・運行：伊手農村農業活性化協議会 <事務局 伊手振興会> TEL:0197-39-2121  
農村 RMO モデル形成支援事業活用 (農林水産省)  
詳細は表面へ

# 共創・連携するためのポイント／コツ

関係者調整をするには  
だれよりも内実を  
知っている必要がある！



「ニーズを聞くな」「私も使ってみたい交通」

攻略すべきは「交通（車）」ではなく「人」

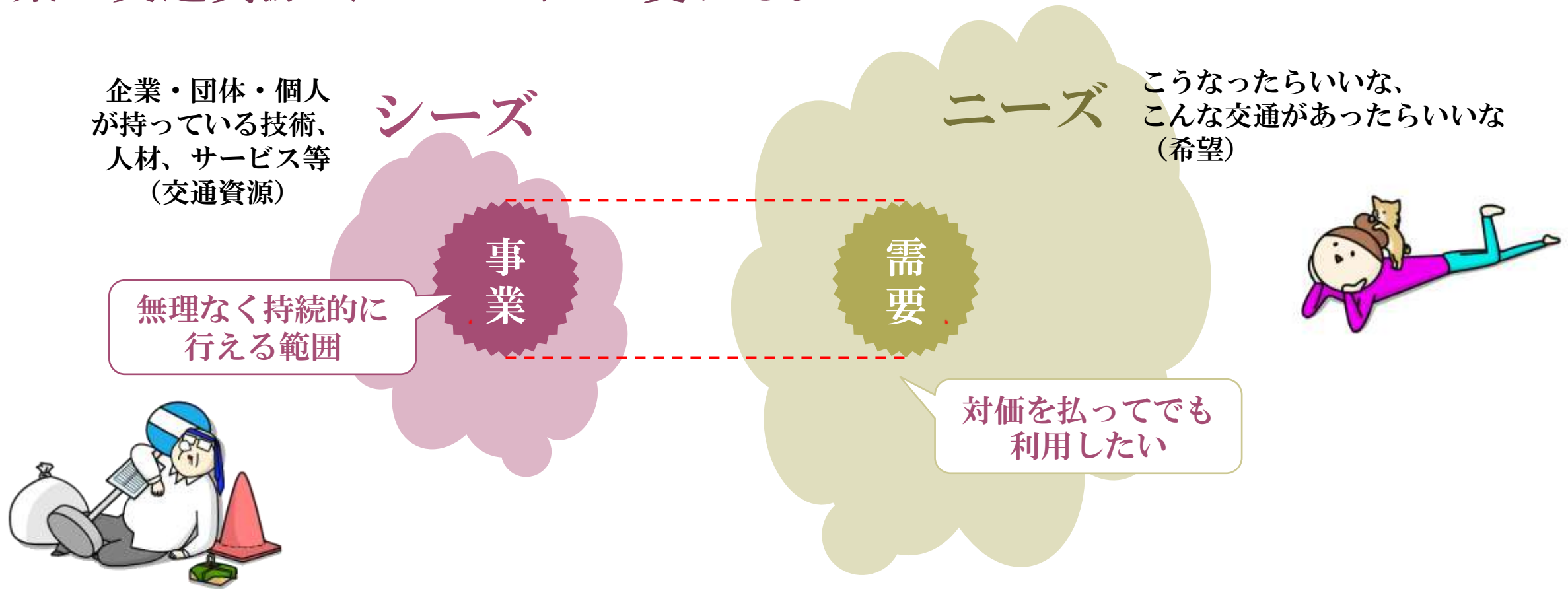
必要ならば、「筋（交番表）」も書け

まちと交通に対する「愛着」がエネルギー

# ニーズを聞くな

- ニーズと需要は違う。
- 需要は事業内容（＝サービス水準）で変わる。
- 事業は交通資源（＝シーズ）で変わる。

まず、交通資源の洗い出しが  
重要。  
住民には「移動の実態」を  
聞くべし。





- 年齢、同居状況、集落
- どの病院に、どのような方法で行っているか。
- その時にどんなふうに困っているか。



# 攻略すべきは「車」ではなく「人」

- 「乗務員」と「経営陣」の違いに気を付ける
  - 利用者の利便性、快適性に直接影響を与えるのは「乗務員」

- 会社の組織性の多様さに配慮し、合わせる

- 乗合バス事業者
- 貸切バス事業者
- 貨物事業者
- タクシー会社

【会社ヒアリング項目例】＊タクシーの場合

- ・ 社長の年齢、乗務員人数と年齢、車両台数
- ・ あと乗務員がいるといいか
- ・ 乗務員は歩合制か定額制か、歩合率
- ・ 1日1台の平均売上、1人あたりの平均運賃
- ・ 後継ぎはいるか

まず、乗務員に好かれるべし



# まちと交通に対する「愛着」がエネルギー

- 調べる、乗る、しゃべる
  - 体験すると愛着が湧く
  - 顔が見えると愛着が湧く
- その時に「戸惑った点」が直すべき点

